

- ① 開催年月日 令和5年10月26日 14:00～16:00
- ② 開催場所 宇治商工会議所(京都府宇治市宇治琵琶45番地の13)議員講話室
- ③ 委員の出席 委員総数 7名
出席委員数 7名
放送事業者側出席者名 局次長、ディレクター

④ 議題

- (1) 特別番組「昭和28年大水害から70年 後世に伝えたい先人からの教訓」令和5年9月25日放送分

(2) 報告事項

イベント・司会業務の見通しについて
中学生職場体験受け入れについて
特別番組について

- ⑤ 議事の概要 実際水害を経験された方のお話を交えパーソナリティとゲストのトークで内容も充実していた。具体的な避難場所や避難経路をもう少し詳しく説明してほしかった。座談会を進行するパーソナリティが当時の状況を俯瞰的に解説を入れるより聞きやすかった。番組を通じて専門的な情報に接触できる企画を続けて試みてほしい。などの意見が多数出された。

⑥ 審議内容

ディレクター 本日審議して頂くのは、9月25日に放送された久御山町特別番組「昭和28年大水害から70年 後世に伝えたい先人からの教訓」についてです。
放送日は9月25日は宇治川の堤防が決壊した昭和28年水害からちょうど70年になる日に合わせました。節目を迎えるにあたり当時水害を経験した2人の久御山町民の方と久御山町長の特別座談会が開催されその様子を収録しました。実際に水害を経験した方の声から当時を振り返り、これから起こりうる災害に対してどう備えていくか、また考える機会に座談会の模様と、水害の体験手記の朗読、そして町の水害対策について紹介しました。

～同録～

委員 女性ナレーターのスピードや声のトーンはとても聞きやすかったのですが、男性の声がすこし聞き取りにくかったです。貴重な体験談だったので、合間にナレーションを入れるなどしてよかったので

委員 話されていた内容の要点をまとめて注釈や解説を入れるとよりわかりやすかったと思います。

委員長 実際被災された方のお話を聞けるのはとても貴重ですし、お話から当時の様子など感じることができました。例えば次に番組を構成するにあたり、専門の方をゲストにお呼びして、パーソナリティとの掛け合いの番組なども面白いのではないのでしょうか。気になった部分など番組内で質問できますし、なによりリスナーが聴きやすいのでは。

委員 番組のどこかで、もし氾濫した時のために久御山町はハザードマップがありますので、それに沿って具体的な避難場所や避難経路をもう少し詳しく説明してほしかったです。

委員 地域の昔の出来事や災害など、振り返り伝えていくことは、コミュニティ放送局だからこそできる大変意義のあることだと思います。

委員 色んな視点で防災、災害について発信できると思うので、特別番組にとらわれず、通常の放送やCMなど企画してみてもどうでしょうか。

委員 座談会で司会者のパーソナリティが、もう少し当時の状況を時系列で紹介する等のガイドがあれば当時の事を知らないリスナーも分かりやすかったのでは。